

青年の父

やまもとたきのすけ あしあと たす

山本瀧之助の足跡を訪ねて

【7】購読無料の「吉備時報」

「吉備時報」は第5刊からの名称で、それまでは、「沼隈時報」であった。1902年(明治35年)8月から1912年(大正元年)3月までの間、全95号まで発刊した月刊誌で、執筆、編集、資金集めすべて瀧之助が行った。内容は、地方に暮らす人々に有効な情報の提供を念頭に、教育・宗教・衛生・文学・農工商業など多岐にわたり、時には昔話や伝統行事の記事も掲載した。また、「論説」や「社説」の欄を設け、青年の生き方や若連中の現状、青年団体の組織化など瀧之助の思いや主張を率直に述べた。1回の発行は500~800部で購読料無料で郵送などで配布した。発行の経費は広告料で補うため日曜日ごとに各地に広告を取りに駆け回っている。「時報」21号の「日曜日と足」という記事には「一頁の広告アテに雨中を三里行くもモノにならず」「尾道に行き店頭におシギ幾十回広告予定に達す」とある。購読料を無料にしたのは、読者に負担をかけたくないという思いと、個人雑誌としてあくまでも自由に主張を書きたいという思いが強かったからと考えられ、苦しい中にも充実した日々を過ごした。次号に続く

執筆：上田靖士(山本瀧之助研究会会員)



南部こんなんやるDay



南部管内の講座のご案内です。みなさまどうぞご参加ください。

瀬戸コミュニティセンター

951-1809

中国を食べ歩き!

と き 第1回 水餃子

1月13日(金) 10:00~

第2回 肉まん

2月10日(金) 10:00~

材料代 実費(300円~500円)

定員 15人

料理をとおして、違いを認め合い、

つながっていきましょう!



赤坂公民館

951-1001

人形劇で楽しい時間を

と き 2月7日(火) 10:00~

とろこ 赤坂保育所

出演 劇団「じゃんけんぽん」

内容 ウエルとヘルシーのぱくぱく冒険

たまげたワールド

大型絵本・紙芝居

おとうさん・おかあさん・おじいちゃん・おばあちゃん、保育所に通っていない小さな子どもたちと一緒に遊びにきてください。あったかいひと時を過ごしませんか。



沼隈図書館だより 987-5630

新春コンサート

と き 1月15日(日) 13:30~

演奏 サンパルオーケストラ

特別出演 堀江 悟さん

(元NHK交響楽団第2バイオリン首席奏者)

内容 バイオリンと琴による「春の海」ほか



ポ〜ノさんのささやき

新しい年が始まりました。今年はどうなるのでしょうか。昨年は、大地震・津波そして原発事故と大変な出来事があり、たくさんの人が今もつらい思いや悲しい思いをしています。しかし、助け合いや絆など、人と人とのつながりが再確認された年でもありました。復興にはまだまだ時間がかかります。被災地の悲しみを忘れず、自分にできることを考え実行することが、さらに絆を強くするのではないのでしょうか。



視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。